

ジェネラリスト看護師キャリア開発ラダー							
能力	レベル	I	II	III	IV	V	
		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する	
専門的・倫理的・法的な実践能力	レベル毎の定義		倫理的・法的規範に基づき必要に応じ助言を受けて実践する	倫理的・法的規範に基づき標準的な実践を自立して行う	倫理的・法的判断に基づき、個別の状況に応じた判断と実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	倫理的・法的判断に基づき、認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動しロールモデルを示す	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する
	レベル毎の目標	アカウントビリティ	看護職個人として、自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動・説明し実践への責任を持つことができる	看護職個人として、自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動・説明し実践への責任を持つことができる	看護職個人として、状況に応じ自ら判断して行動・説明し実践への責任を持つとともに、責任を果たす行動における自身の課題に気づき他者と共有できる	看護職個人として、責任を果たすことについて同僚や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動し、ロールモデルを示すことができる	看護職個人として、より複雑で関係者が多様な場面においても責任を果たし、組織や分野を超えて参画できる
		倫理実践	看護職員としての自覚と責任を持った行動ができる	倫理的指針等と日常の看護実践を紐づけて理解し、倫理的指針に基づき行動できる	個別的な状況においても自身で判断し倫理的に行動するとともに、倫理的問題が生じている可能性に気づき他者と共有できる	顕在的・潜在的な倫理的問題について問題提起し、同僚に働きかけモデルを示すことができる	より複雑かつ多重的な顕在的・潜在的な倫理的問題について、解消のために組織や分野を超えて参画できる
		法的実践	看護実践に関する関連法令について理解し、助言を受けて行動することができる	看護実践に関する関連法令について理解し、適切に行動できる	個別的な状況においても看護実践に関する関連法令を遵守し、法令に違反する可能性がある行動に気づき他者と共有できる	看護実践に関する関連法令を遵守し、法令に違反するリスクがある他者の行動や組織の状況に対し問題提起できる	より複雑な状況においても看護実践に関する関連法令を遵守し、違反するリスクがある行動や組織の状況に対し組織を超えて参画できる
臨床実践能力	レベル毎の定義		看護に必要な基礎的な知識、技術、態度を身につけ、必要に応じ助言を得て、安全で、正確にケアを提供する	患者を理解し、標準的な看護計画に基づき自立して個別的な看護を実践する	理論に裏付けされた看護過程の展開と、根拠に基づいた個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち熟練した看護過程の展開、ケアを実践・評価する	複雑な状況において、専門性を発揮し、創造的な看護実践ができる実践の役割モデルとなる
	レベル毎の目標	ニーズをとらえる力	助言を得て患者や状況(場)のニーズをとらえることができる	患者や状況(場)のニーズを自らとらえることができる	患者や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえることができる	患者や状況(場)を統合しニーズをとらえることができる	患者や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえることができる
		ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実践できる	患者や状況(場)に応じた看護を実践できる	患者や状況(場)の特性をふまえた看護を実践できる	様々な技術を選択・応用し看護を実践できる	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践できる
		意思決定を支える力	患者や周囲の人々の意向を知ることができる	患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	患者や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	患者や周囲の人々に意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
協働する力		関係者と情報共有できる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換できる	患者やその関係者、多職種と連携できる	患者を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	患者の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かすことができる	
リーダーシップとマネジメント能力	レベル毎の定義		基本的な業務手順に従い、必要に応じ助言を得て実践する	業務手順や組織における標準的な計画に基づき自立して実践する	個別の状況に合わせた状況における判断と実践を行う	組織における安全かつ効率的・安定的な実践のための体制整備に主体的に参画し、同僚を支援する	安全で効率的・安定的な実践を常に提供できるよう、組織や職種を超えた調整や教育に主体的に参画する
	レベル毎の目標	業務の委譲/移譲と管理監督	看護チーム内の他職種の法的権限や役割を知り、助言を得て、業務を委譲し、委譲した業務の実施確認ができる	看護チーム内の他職種の法的な権限や役割を理解し、自立して業務を委譲し、委譲した業務の実施確認ができる	イレギュラーな状況においても看護チーム内で適切な業務の委譲および実施確認をするとともに、他職種の法的権限や役割を理解し、必要時業務を移譲できる	組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画できる	業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、組織や職種を超えた調整による体制整備に主体的に参画できる
		安全な環境の整備	助言を得て、安全な環境整備に関わるルールに基づき行動できる	安全な環境整備に関わるルールに基づき自立して行動できる	事故や問題の発生時、人々や同僚の安全を確保し影響を最小にする行動ができる	事故や問題の発生時にも主体的に行動し同僚を支援するとともに、潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画できる	事故や問題の発生時・平常時の危機管理体制の整備や見直しに、組織や職種を超えて主体的に参画できる
		組織の一員としての役割発揮	自身の業務を時間内・時間通りに行うとともに、組織(チーム等)の一員としての役割を理解できる	組織や業務実施の標準的な計画に基づき、業務の優先順位の判断や効率的な時間管理を自立して行うとともに、組織(チーム等)の活動に参加し同僚と協力できる	業務の実施の中で一時的にリーダーとしての役割を担い組織(チーム等)の目標達成のための業務の管理や改善ができる	組織の目標達成のための業務改善や同僚の支援を行う組織のリーダーとしての役割を担い、改善すべき点は同僚にフィードバックできる	業務改善や人材育成のためにリーダーとしての役割を担い目標達成に参画するとともに、組織を超えた変革や人材育成に役割を發揮できる
専門性の開発能力	レベル毎の定義		自己の課題を発見し、自主的な学習に取り組む ストレスと向き合い、助言を得て、前向きに考える 自己の行動・出来事を振り返り、修正点を認識する 専門職としての自身の質の向上を図る	自己の課題達成に向けて、学習活動を展開し、看護実践に研究的に取り組む ストレスがかかっても冷静に対応し、実践を振り返り、修正点を認識する 専門職としての自身の質の向上を図る	長期展望に立ち、自己の学習活動に積極的に取り組むと共に、既存の研究成果を臨床で活用し、自らも実践に繋がる研究を行う 常に冷静な議論や対応を行い、実践を振り返り改善につなげる 自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わる	看護の専門性を高め、組織運営に活用すると共に、研究に取り組み成果を発信する 困難な状況でも冷静な議論や対応を行い、実践を多様な観点から振り返り改善に繋げる 幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わる	看護の質を追求し、組織運営に活用すると共に、主となり研究に取り組み、成果を発信する あらゆる場面でも冷静に働きかけ、実践を多様な観点から振り返り、より良い将来を創る行動に繋げる 未来を志向し、看護の専門職として、組織や看護・医療を超えて社会の変革・創造や人材の能力開発に貢献する
	レベル毎の目標	看護の専門性の強化と社会貢献	看護の専門職として、制度・政策について理解できる	看護の専門職として、制度・政策について理解し、看護の効率・効果を高める活動に、専門組織を通じて情報を得ることができる	看護の専門職として、制度、政策の提言や看護学の発展等の看護の効率・効果を高める活動の情報を活用し、参画できる	看護の専門職として、制度、政策の提言や看護学の発展等の看護の効率・効果を高める活動に参画し社会に貢献できる	看護の専門職として、制度、政策の提言や看護学の発展等の看護の効率・効果を高める活動を通して社会に貢献し、より良い看護の発展に向け、提言できる
		看護実践の質改善	所属部署の教育体制と方法を理解できる 臨地実習指導の概要を理解できる 看護における問題解決の方法として、研究に関心を持つことができる	所属部署の教育体制と方法を理解し、教育活動に参画できる 臨地実習指導の概要を理解し、教育活動に参画できる 看護における問題解決の方法として、研究に参加できる	所属部署の教育体制と方法を理解し、指導者としての役割を果たすことができる 臨地実習指導者としてロールモデルの役割を果たすことができる 看護における問題解決の方法として、研究に取り組むことができる	所属部署の教育体制が効果的に機能するよう教育活動に参画できる 学習者としての看護学生を理解し、学習意欲を促進できる 看護における問題解決の方法として、研究に取り組む、発表できる	所属部署の教育活動に参加し、人材育成に貢献できる 効果的な臨地実習を支援するための環境を調整できる 看護における問題解決の方法として、研究に取り組む指導できる 自己の研究テーマを持ち継続して取り組み、発表できる
		生涯学習	専門職業人として生涯教育の必要性を理解し、自己研鑽できる 自己の行動を振り返り、意味づけできる	研修に参加し、看護の知識、技術を高めることができる 自己の看護の視点について振り返り、意味づけできる	研修の学びを共有し、実践に役立てることができる 自己の実践について振り返り、行動変容につなげることができる	研修会での学びを効果的に伝達し臨床で有効活用できる 自己の実践を多様な観点から振り返り、行動変容につなげることができる	時代の変化や自身のキャリアに応じ、生涯学習の機会を活用できる 自己の実践を多様な観点から振り返り、組織活動につなげることができる
自身のウェルビーイングの向上		自身のウェルビーイングの維持を図ることができる		心身の状況を判断してセルフケアを行い、自身のウェルビーイングを維持向上できる	自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し、同僚のモデルとなることできる	自身のウェルビーイングの維持向上を継続するとともに、組織や看護・医療を超えて人材のウェルビーイングに創造的に関わることができる	